

## 2023 年度 一般社団法人日本作業行動学会 第 3 回理事会 議事録

日 時：2023 年 5 月 29 日（月曜日）18:05 ～19:20 本会議

2023 年 5 月 30 日（火曜日）9:00 2023 年 5 月 31 日（水曜日）12:00 配信後決議

場 所：Zoom を用いた Web 会議。Zoom を用いた会議に出席できなかった理事には、会議終了後、議案書を篠原事務局長よりメールで配信し、決議した。

参加者：石井良和会長、村田和香副会長、小林隆司副会長、篠原和也事務局長、鎌田樹寛理事、小林法一理事、笹田 哲理事、鹿田将隆理事、鈴木憲雄理事、竹原 敦理事、谷村厚子理事、岩瀬義昭監事

### 審議事項：

1. 総会議案について

→ 異議なく承認された。

2. 2022 年度活動報告と決算報告について

→ 異議なく承認された。

3. 2023 年度活動計画と予算について

→ 異議なく承認された。

4. 機関誌編集委員会より

1) 論文表彰（研究・事例報告）の推薦について

編集委員の投票により以下に決定することが承認された。

#### 【研究論文】

山田孝・他：認知症高齢者における「生活行為の障害に対応した支援プログラム」の効果：～ランダム化比較試験～. 26 巻 4 号 p188-197

馬場順子・他：神障害者の就労継続に影響する就労準備性と作業参加の特徴に関する検討～就労支援のための訓練生用チェックリストと人間作業モデルスクリーニングツールを用いた分析～. 26 巻 2 号 p73-80

#### 【事例報告】

大澤彩・他：10 年にわたり転職を繰り返した高次脳能障害者の就労定着支援—人間作業モデルにより気づきを得られた事例—. 26 巻 2 号 p81-91

2) 編集委員の委嘱と推薦について

編集委員長より退任の希望があったので、本年度より 2 年の任期で以下の編集委員を委嘱するとともに、新たに 3 名を推薦し、本人から承諾が得られた場合、編集協力者とする。

現編集協力者は、退任の希望がない限り委嘱を継続とする。

編集委員長 南征吾

副編集委員長 鹿田将隆、篠原和也、永井貴士

編集委員 井口知也、石井良和、大松慶子、川又寛徳、京極真、小林隆司、高木大輔、  
谷村厚子、中村裕美、村田和香、藪脇健司

編集協力者 石橋裕、小林法一、竹原敦、丁子雄希、本家寿洋、宮寺寛子、  
村仲隼一郎、安永雅美

新たに編集協力者として推薦するもの（以下、3名）

- ・杉山いずみ氏 神奈川県立保健福祉大学
- ・野村健太氏 目白大学
- ・馬場順子氏 群馬パース大学

### 3) 活動報告

- ・2022年度は18論文の新規投稿があり、26巻1号、2号、3号、4号を発刊したことが承認された。毎号につき機関誌「作業行動研究」を600冊発刊した。
- ・本学会の人間作業モデル認定セラピストが、日本作業療法士協会認定作業療法士新規取得要件のうち、他団体・学会等の認定資格取得の事例報告要件となることが確認された。これにより、人間作業モデル認定セラピストは、日本作業療法士協会の認定作業療法士取得要件の一つである事例報告が免除される。

### 4) 活動予定

- ・投稿論文の査読、機関誌の発刊、オンライン投稿システムの検討を行う。
- 1) から4) について、異議なく承認された。

### 5. 人間作業モデル認定セラピストについて

2022年7月17日、2023年1月5日に理事会で承認され、第33回総会に認定を受けるのは以下の会員である。

- ・坂元悠太氏 (IMSグループ イムス札幌内科リハビリテーション病院)
- ・久木崎航氏 (株式会社未来図 Labo)

→ 異議なく承認された。

### 6. 本年度研究助成について

#### 1) 2022年度の申請者

- ・青柳翔太氏：パラスポーツ支援者の支援に対する作業参加の状態に関する研究—人間作業モデルの構成要素に基づくインタビューによる検討—。
- ・木村夏実氏：成人前期版興味チェックリストの開発。

## 2) 公募期間

総会終了後より2月末を公募期間とする。今年度は、6月19日（月曜日）から2月29日（木曜日）とする。

## 3) その他

研究助成の公募要領は昨年度と同様とする。

→ 本年度は、上述した申請者2名の採択が承認された。2)と3)についても、異議なく承認された。

## 7. 次年度の学術集会

大会長は、永井貴士氏とし、平成医療短期大学において現地開催を計画する。

→異議なく承認された。